



# ボイラ水の省エネルギー



ボイラ給水は無薬品化することで、  
環境保護とコスト削減の両立が出来ます。



## 1 ゼロケミシステムによる無薬品／省薬品・ブロー率低減

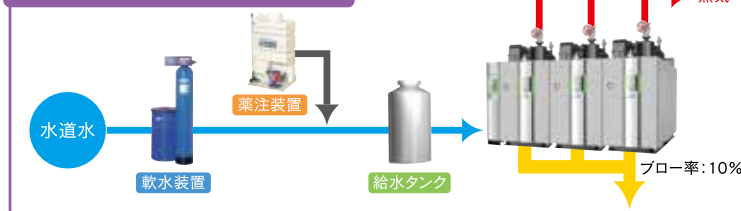
### ミウラ水質改質装置システムフロー例



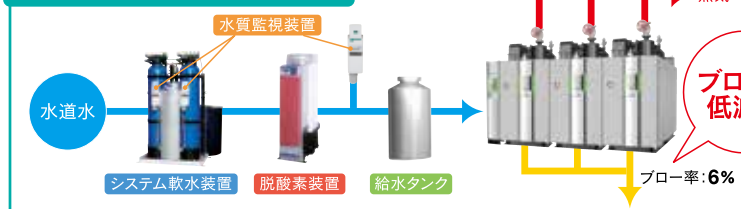
当社は「ゼロケミ」という画期的な水処理技術を開発しました。従来、ボイラの稼働に不可欠な水処理過程では、さまざまな薬品を使用していました。ゼロケミは、薬品を使わずに水処理する技術。ゼロケミにより、安全性の確保・エネルギー効率の向上・エコといった効果が実現され、特に食品メーカーなどにおいては、食の安全など切実な問題の解決につながります。

薬品使用量  
6,820kg/年削減  
ブロー率低減により  
52.4t-CO<sub>2</sub>/年のCO<sub>2</sub>削減

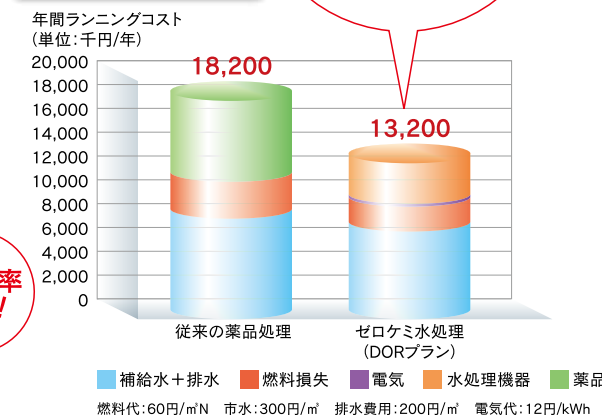
### 従来の薬品処理



### ゼロケミ水処理 (DORプラン)



年間約500万円の  
コストダウン



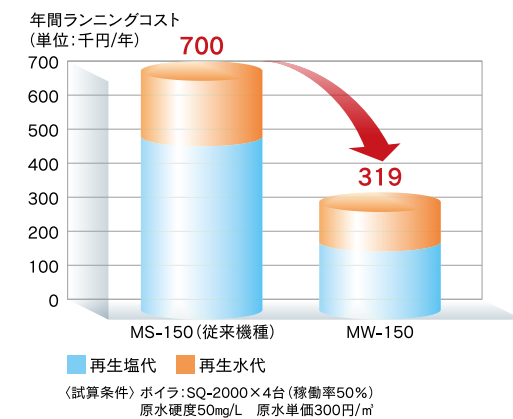
## 2 独自技術による軟水処理のコスト低減

新再生方式の採用と原水硬度監視装置との連携により軟水処理ランニングコストを低減します。

- ① スプリットフロー™再生による高効率再生 (節塩・節水再生)
- ② 原水硬度カラーメトリによる採水量自動調節 (再生タイミングの自動設定)

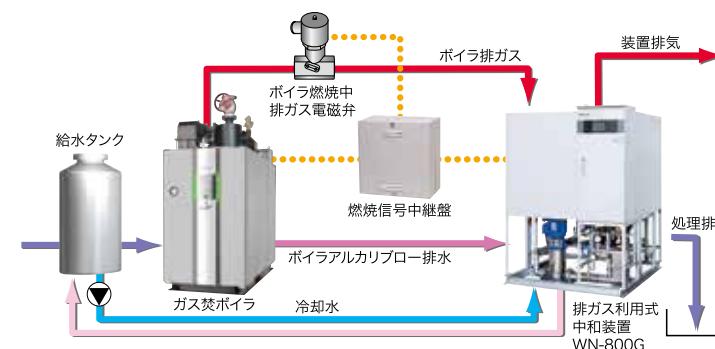


年間約38万円の  
コストダウン

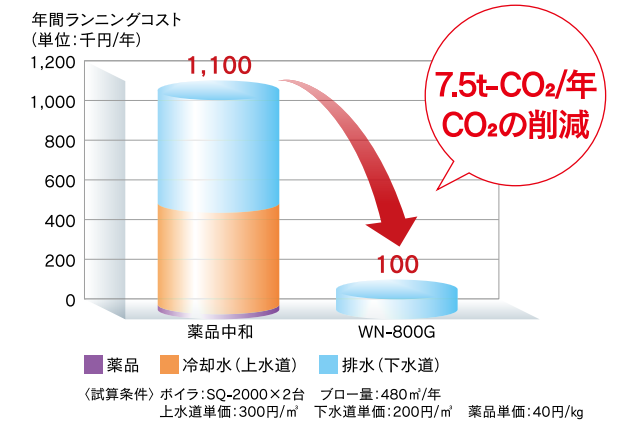


## 3 排ガス中和によるコスト低減・CO<sub>2</sub>削減

ボイラの排ガス中には、約10%の炭酸ガスが含まれており、これを利用してボイラアルカリブロー排水を中和します。  
炭酸ガス、薬品の入替え、管理、保管に関する労務がなくなります。



年間約100万円の  
コストダウン



7.5t-CO<sub>2</sub>/年  
CO<sub>2</sub>の削減